



在宅医療を支える多職種連携研修会

板橋サバイバーシップ研究会 2018

患者さんが安心して住み慣れた地域で暮らすために

板橋サバイバーシップ研究会の取り組み 住み慣れた地域で暮らすためのチームづくり

渡邊 清高

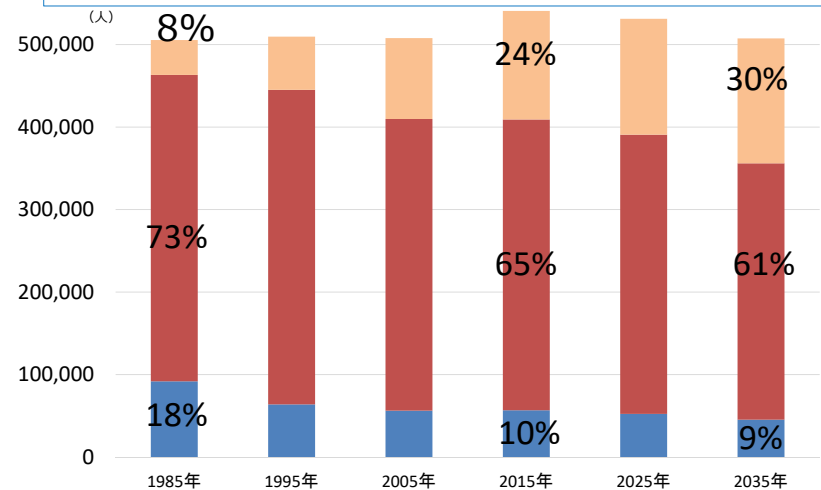
帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科
帝京がんセンター

2018年10月31日

在宅医療を支える多職種連携研修会 板橋サバイバーシップ研究会 2018

都市部は今後高齢化が顕著

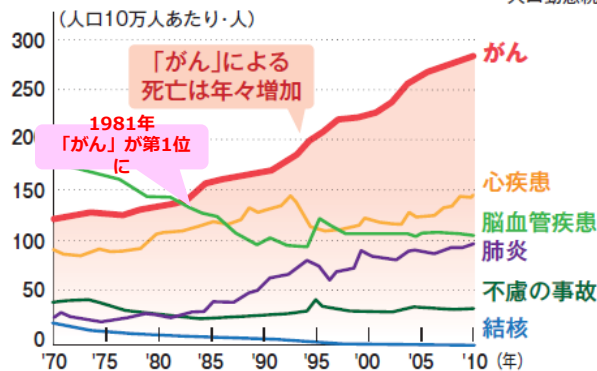
人口比率で、年少人口は半分、老年人口は4倍弱（板橋区）



1985年～2005年 人口動態統計
2015年～ 日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計） 国立社会保障・人口問題研究所

がんになる人はどのくらいいるの？

主な死因別にみた死亡率の年次推移 厚生労働省／人口動態統計

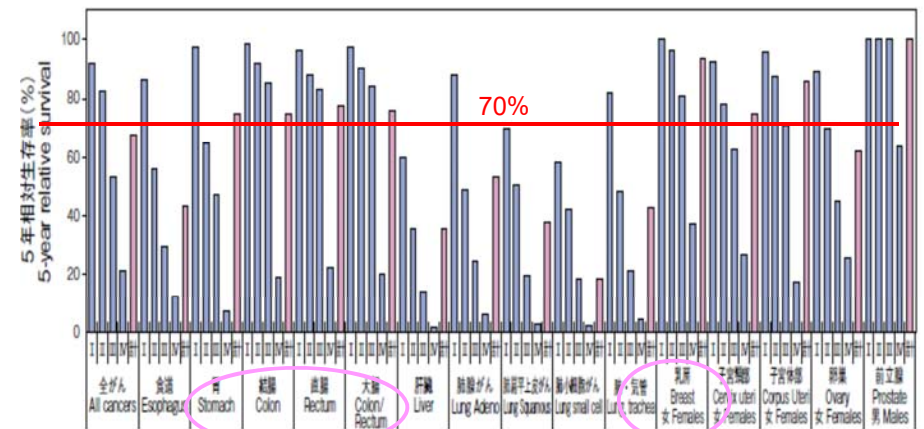


年間37万人の方ががんで亡くなり、
1年間で86万人の方が新たにがんと診断されています。

（死亡 2016年データ、罹患 2014年データ）

医療の進歩→患者と家族を支える社会へ

がんの5年生存率（2007-2009 診断治療症例）
全国がん（成人病）センター協議会（全がん協）



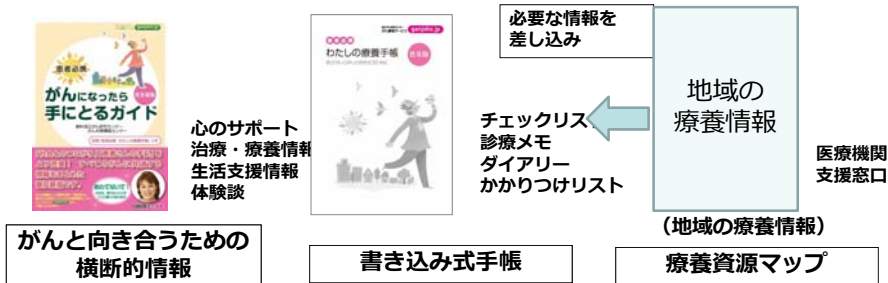
胃・大腸・乳がんは5年生存率が70%を超えている

がんの統計'17

患者必携 がんになったら手にとるガイド

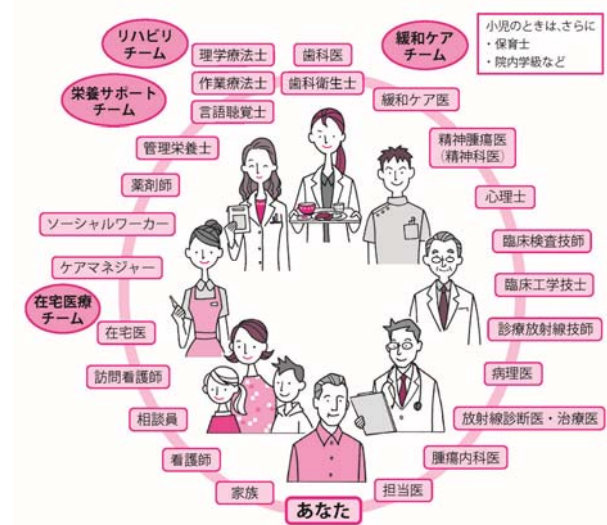
がん対策推進基本計画（19年6月策定）より

- **がん患者が必要な情報を取りまとめた患者必携**を作成し、拠点病院等がん診療を行っている医療機関に提供していく。
- **患者必携**等に含まれる情報をすべてのがん患者及びその**家族が入手できるようにすること**を目標とする。



書籍・手帳 患者必携 がんになったら手にとるガイド
学研メディカル秀順社 2013年
インターネット「がん情報サービス」でも無料で閲覧可

顔の見える連携から 患者さん・ご家族・地域とともに歩む医療へ



チーム医療のイメージ

患者必携
がんになったら手にとるガイド
国立がん研究センター
がん対策情報センター

患者さんにご家族をつなぐ在宅療養ガイド

<http://homecare.umin.jp>

がんの在宅療養

ご家族のための
がん患者さんご家族のための
在宅療養ガイド

みんなで支える
チームで支える

「がんの在宅療養」サイトは在宅療養に関する情報をがん患者さんのご家族、医療従事者、介護・福祉スタッフ向けに提供しています

必要ところから読む

第1章 在宅での療養を始める

第2章 「最期のとき」に向き合うこと

第3章 人生の最期をともに生きる

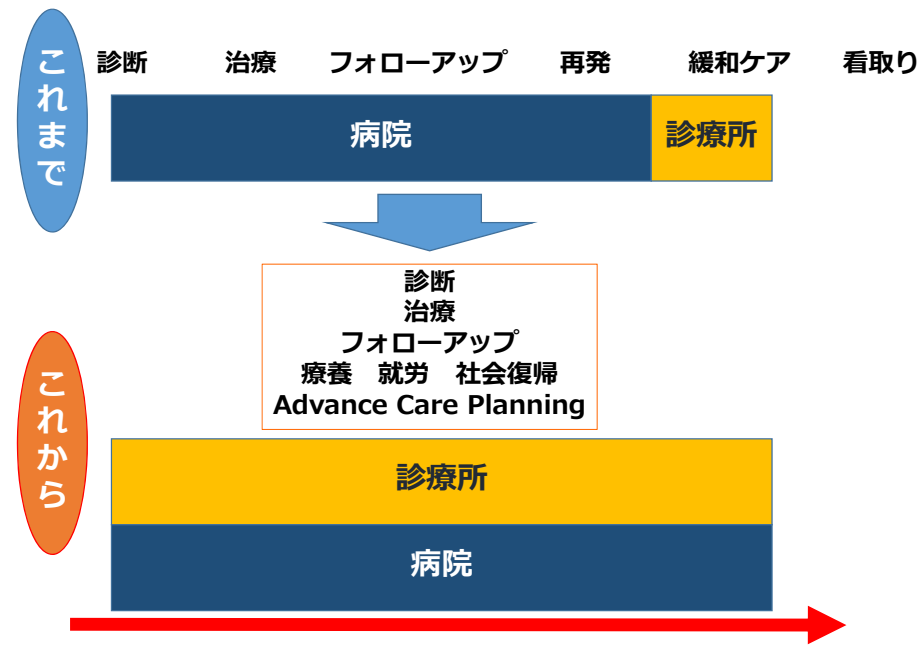
第4章 お別れの時期

2015年公開
全文を無料で閲覧可能
(インターネット)
全国の
がん診療連携拠点病院に
見本版を提供
2016年書籍化

PDF版公開

ぜんぶ読む

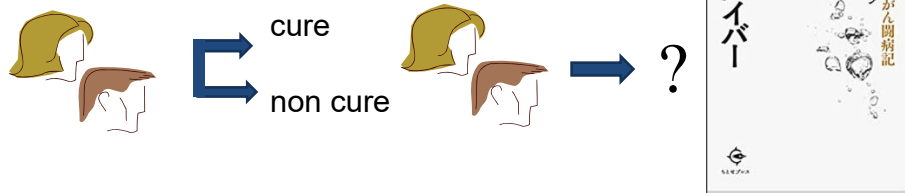
がん医療フォーラム 仙台 2015



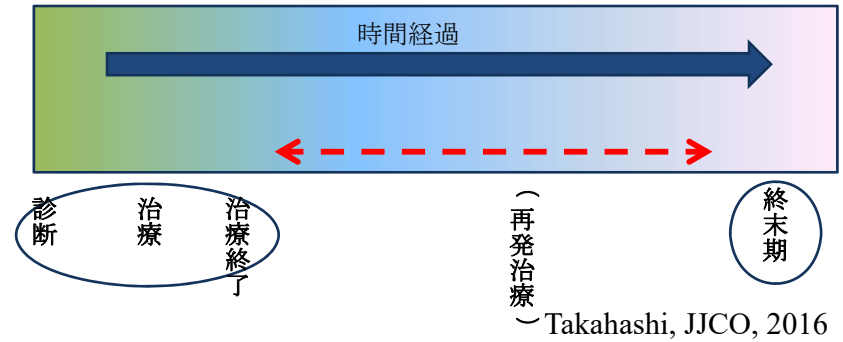
「がん」治療と「サバイバーシップ」

Mullan F. Seasons of survival: reflections of a physician with cancer.
N Eng J Med. 313(25): 270-273, 1985

- ◆ アメリカ人男性医師。32歳時に縦隔胚細胞腫と診断される
- ◆ がん体験は、「治癒したかどうか」の単純な二分法では表現できない
- ◆ 最終的な帰結よりも、本人が診断後を生きるプロセスととらえるほうが実感に近い
- ◆ 帰結にかかわらず、体験者が共有する課題がある



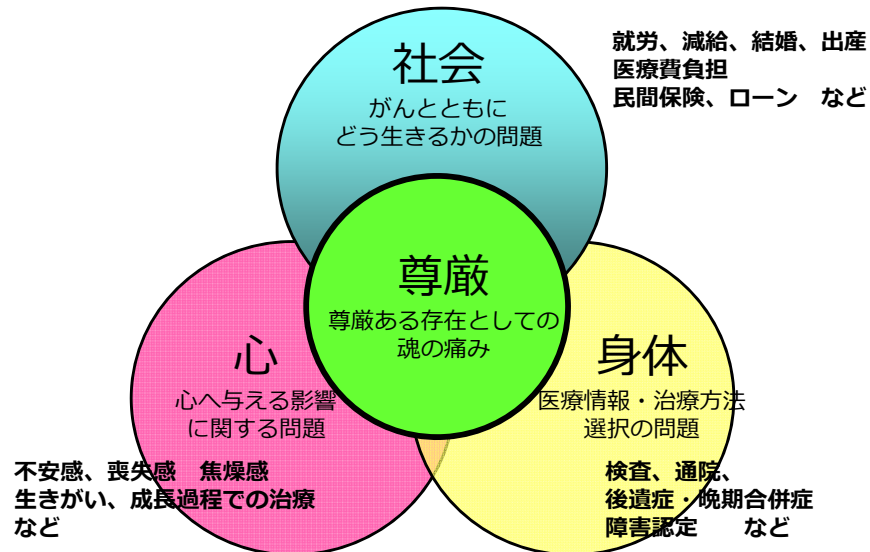
がんのサバイバーシップが注目する時期



がんのサバイバーシップとは
 主としてがん体験の「間の時期」に焦点をあて
 社会生活を送る本人・とりまく人々が直面する困難を明らかにし
 状況をよりよくすることを旨とする研究

◆ がん診断の後を生きていくプロセス全体のこと
 The process of living with, through, and beyond cancer (ASCO)

がん経験者が直面する4つの痛み



板橋サバイバーシップ研究会

- ・板橋区医師会 在宅部・学術部・在宅医会
- ・患者自身の社会生活を支える視点での社会的・精神的支援の充実を目指す
- ・2016年 がん、神経難病、頭頸部がんのQOL
- ・2017年 認知症、心不全、間質性肺炎
- ・2018年 頭頸部がんの栄養、がんの治療と療養
- ・非がん疾患も含めたセルフケア・リハビリテーション
 意思決定支援、インフォームドコンセント
 アドバンスケアプランニング、臨床倫理

在宅医療を支える多職種連携研修会 板橋サバイバーシップ研究会 2018

の提案

病を患った方とそのご家族の**希望に沿った療養を実現できる地域づくり**のために、

医療・介護・福祉・行政の幅広い職種がお互いを理解し合い、患者さんやご家族の思いを大切にしながら協働していくことが重要です。

東京都板橋区などおよび都西北医療圏の在宅療養を支える専門職が一堂に会し、「**患者さんが希望する場所で自分らしく過ごすことのできる仕組みづくり**」のさらなる充実のために、治療だけでなく**患者さんご家族の社会生活を支える視点**で、**情報の共有と連携**の重要性について話し合います。



アンケートへのご協力をお願い

- お答えいただいた結果は、よりよい緩和ケア・療養支援の取り組みを普及していくための資料にさせていただきます。

研修会終了後、
出口で回収させていただきます。